

心からのご寄付を ありがとうございました

10月21日～11月25日

東京マリンロータリークラブ	現金	100,000円
一宮中ライオンズクラブ	現金	300,000円
ライオンズクラブ国際協会330-A	現金	1,000,000円
飯村トキコ	現金	1,000,000円
読売新聞北陸支社	現金	1,512,685円
山崎久江	現金	5,000円
光ヶ丘女子高等学校同窓会	現金	133,230円
チュウウウカイ (ナカムラタダアキ)	現金	102,000円
匿名	切手	342円
匿名	切手	180円
福次康三	現金	1,000円
阿原一良	現金	10,000円
匿名	切手	1,345円
京都府病院薬剤師会	現金	45,000円
毎日新聞東京社会事業団	現金	500,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 566655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

1000例突破キャンペーン

～来年2月9日予定で全国展開～



このキャンペーンは、全国協議会加盟団体をはじめとする全国のボランティア団体が、全国同時一斉に街頭に立ち、様々な形で市民に呼びかけるとともに、千例達成を市民に報告して、千人のドナーに感謝の意を表するイベントにして行きたいと考えています。

細部については、今後実行委でつめていくことになっていきます。全国のボランティアの皆さんは今から準備をよろしくお願います。

このほど財団普及広報委員と全国協議会メンバーによる実行委員会が設置され、千例突破キャンペーンへ向けた準備が進められることになりました。十一月二十日の第一回実行委員会で、財団は千例は二月上旬になるとの見解を明らかにし、キャンペーン期日を二月九日に実施することを決定しました。

間もなく迎える日本骨髄バンクによる非血縁者間骨髄移植の千例達成を記念する催しを行うよう、骨髄移植推進財団に提案を行って来ました。

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160 東京都新宿区
愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 566655

治る可能性のある方を 死に至らせないために ＝公的バンク発足 5年にあたって＝



骨髄移植推進財団
普及広報委員長
森 眞由美

今年の十二月でバンク発足五周年を迎えます。この節目にあたり、財団からのメッセージを掲載します。

五年経過した現在、ドナー希望者が七七、二四六人となり、九百十二人(十月末現在)の方々が移植を終了しています。

ドナーに登録すると数ヶ月の間「二次検査のお願い」が届き、患者登録をする約七十%の方は一ヶ月以内に適合者が見つかったという報告を受け、毎日約一人の割合で移植が行われるというところまでやっとなりました。

より多くの方々が適切に移植を受けられるためには、さらに多くの問題の解決が必要で、ドナー数一つ取り上げては適合者の見つかる割合を七十%から九十%に上げるのは十万人でなく百万人必要かも知れません。

治る可能性のある方を死に至らせないように、さらに皆で努力しあっていきたいと思っています。目標は一つです。

一九八〇年代前半から日本で骨髄移植が始まりましたが、近親者にHLAの合う方がいない

と出来ないため、多くの患者さんには遠い存在でした。

一九九一年十二月ボランティアの方々の努力が実を結び、公的骨髄バンクが設立され一九九二年の一月に第一例目の移植が行われました。どの患者さんにも治る可能性がでてきました。

初めの十例を行うのに三ヶ月かかっています。この間は、移植日という移植終了の電話連絡が入るまで病院で待機する日々でした。喜びに満ちた声が続いてき、私も希望に満たされる思いでした。

五年経過した現在、ドナー希望者が七七、二四六人となり、九百十二人(十月末現在)の方々が移植を終了しています。

ドナーに登録すると数ヶ月の間「二次検査のお願い」が届き、患者登録をする約七十%の方は一ヶ月以内に適合者が見つかったという報告を受け、毎日約一人の割合で移植が行われるというところまでやっとなりました。

より多くの方々が適切に移植を受けられるためには、さらに多くの問題の解決が必要で、ドナー数一つ取り上げては適合者の見つかる割合を七十%から九十%に上げるのは十万人でなく百万人必要かも知れません。

治る可能性のある方を死に至らせないように、さらに皆で努力しあっていきたいと思っています。目標は一つです。

一九八〇年代前半から日本で骨髄移植が始まりましたが、近親者にHLAの合う方がいない

と出来ないため、多くの患者さんには遠い存在でした。

一九九一年十二月ボランティアの方々の努力が実を結び、公的骨髄バンクが設立され一九九二年の一月に第一例目の移植が行われました。どの患者さんにも治る可能性がでてきました。

初めの十例を行うのに三ヶ月かかっています。この間は、移植日という移植終了の電話連絡が入るまで病院で待機する日々でした。喜びに満ちた声が続いてき、私も希望に満たされる思いでした。

五年経過した現在、ドナー希望者が七七、二四六人となり、九百十二人(十月末現在)の方々が移植を終了しています。

ドナーに登録すると数ヶ月の間「二次検査のお願い」が届き、患者登録をする約七十%の方は一ヶ月以内に適合者が見つかったという報告を受け、毎日約一人の割合で移植が行われるというところまでやっとなりました。

第55回 運営委員会 報告

十一月二十四日、大阪府立成人病センターで開かれた運営委員会の主な内容は次のとおりです。

◆移植千例突破記念全国キャンペーンについて
二月九日に実施されます。詳細は別掲。

◆台湾骨髄バンクとの患者登録受付開始について

◆九月四日にスタートしたhideのコンサートツアーも十月

金井いづみさん、 安らかに……

骨髄バンクとの道筋をつけたことで、これから多くの患者さんたちに福音をもたらすに違いありません。全国協議会では今、日本の患者が台湾でドナー検索できるように、その準備を進めています。

四十二歳の無念の死ではありませんが、金井さんが残してくれたものは、とても大きなものです。この財産を大事にして行きたいと思えます。

金井さん、どうぞ安らかに眠りください。

二十一日の東京・代々木体育館で二十回にわたる公演を締めくくりました。

各会場に集まったファンからのお便りが、全国協議会に寄せられています。そのいくつかを紹介いたします。

hideさん、全国協議会、(財)ライオンズ日本財団の皆さんご苦労様でした。全国をまわったツアーも今日で無事終了をむかえましたね。今迄あまり関心がなかったんだけど、マユコちゃんきっかけに興味を持つようになりました。今回は募金でしか協力することが出来ませんが、一人でも多くの患者を救ってあげて欲しいと思います。

◆後略 飯田 明子

◆今、こうして元気に暮らせる事、楽しく学校に行ける事、自分の好きな事が出来る事、そしてコンサートに行けること……。ちよと前までの私は、恥しい事だけど、あたり前の事だと思っていました。(中略) どうしても早く自分の幸せに感謝しなかつたんだらうと恥しく思います。(中略) 二十歳になつたら骨髄バンクに登録しようと思えます。 小川 智子

裏面へつづく

hide コンサート ツアー終了

hideのコンサートツアーも十月

裏面へつづく

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●「骨髄バンク推進月間」での政府広報について
12月の骨髄バンク推進月間に向けて、総理府・厚生省では5周年を機会として過去に例を見ない規模で、政府広報枠を利用して全国・地方新聞、写真新聞、雑誌、テレビ・ラジオ、有線放送等の各種媒体・メディアを使って骨髄バンクPRを大規模に実施することになりました。

この他、来年の2月頃には、総理府広報として骨髄バンク啓発用のビデオ(15分)とブックレット(カラー、32ページ)を制作し、全国の都道府県、市町村、視覚障害ライブラリー、CATV等に配布される予定です。

●「九州地区骨髄バンク推進連絡協議会」開催報告
11月8日(金)13:30~17:00 熊本市において財団主催で、厚生省、九州地区の各県・指定都市・中核市、日赤骨髄データセンター、ボランティア団体、財団(普及広報委員長、地区普及広報委員、地区調整委員会、事務局)等、総勢50名

が参加して骨髄バンク事業の現状報告と事業推進に向けた意見交換を行いました。なお、午前中には、行政担当者会議、地区普及広報委員会がそれぞれ開催されました。

●「骨髄バンクニュースNo.9」(5周年記念誌)の発行について
11月25日付でニュース第9号を発行します。内容は、カラー12ページの特別号です。

●「骨髄バンク推進全国大会'96」(5周年記念大会)の開催案内
骨髄バンク事業の一層の発展をめざして、財団主催により下記のとおり全国大会を開催します。5周年記念大会となりますので、是非とも関係者の皆様はじめ多くのご参加をお願いいたします。どなたでも参加(入場無料)できます。ご家族、友人の皆様をお誘いの上ご参加下さい。

日時 平成8年12月14日(土)13:30~16:30
会場 経団連会館14階「経団連ホール」(500

骨髄バンクNOW

名収容) 東京都千代田区大手町1-9-4
地下鉄大手町駅下車

プログラム 第1部 式典
第2部 日本とアメリカの状況報告
その他

[10月末現在検査済みドナー登録者] 77,246人]
[10月末現在患者登録者] 4,557人]
[10月末現在移植件数] 912例]

★骨髄バンクへのお問い合わせは★
フリーダイヤル0120-377-465

父と母の白血病闘病記 悠君ごめんね

九歳六ヶ月でなくなった悠君の再生不良性貧血・白血病との壮絶な闘いの日々。父と母が息子を愛の絆で支えるドキュメント。

高橋照雄・真知子著
また家族にしてね
96芸術参加作品……原作
出演：伊藤蘭、風間杜夫、山本圭他

11月上旬再放送決定!

ドキュメンタリー人間劇場
がんばったネ悠くん
骨髄移植にかけた母と子の一四〇〇日
生命の尊さを綴ります!

定価一五〇〇円

マルジュ社 東京都文京区本郷2-5-2
Tel.03(3813)7349 Fax(3813)6098

